広報 てらどまり
昭和36年11月20日発行 No. 21
新潟県三島郡寺泊町
寺泊町役場発行
編集：総務課広報係
全世帯配布

町勢メモ

11月のこよみ

- ○ 公明選挙よびかけ週間（5日～19日）
- ○ 年賀ハガキ発売（15日）
- ○ 勤労感謝の日（23日）
- ○ 秋の火災予防運動（26日～12月2日）
- ○ 歳末たすけあい運動

町民の生

町章

写宝の寺を図案化し、円の平和と融和精神を象徴3本の線で翼を象り、町勢のかぎりなき発展を表現したものです。

町づくりはこうして進む

―35年の町財政白書―

健全財政を持続

寺泊町財政事情の作成および公表に関する条例第四条により、ここに公表するものであります。

昭和36年11月1日

寺泊町長　酒井綱三作

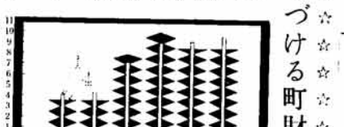
町政がすべて、運営されていてもおり、町民のみなさんにも、るかどうかは、町民みなさんの一とも関心の深いものです。そこに日常活に深いつながりをもつて現にて寺泊町の予算が町民のもので、町財政の正常な運営が福祉の向上という大きな目標にその基となります。そって、合理的に執行されているかどうか、去る九月三十七日町財政は、みなさんの尊い税金やその他によってまかなわれに町議会の承認を受けた昭和三十五年度財政計画に基づいて、

実施された主な施策

- 収入は順調にのびる
- 町民税をへらす
- 住民サービスの事務改善
- 学校施設を増築
- 産業の振興道路網の改良
- 社会福祉の推進
- 国民年金スタート

黒字をつづける町財政

☆☆☆☆☆



昭和三十五年度歳入、歳出は、五月三十一日締切りました新潟県営業によるものであります。これによると、一般会計では歳入、歳出差引九、七万八千円余の黒字となり三十六年度に繰越されました。

町税

歳入の状況

- 町税一世帯当たり一万二千円
- 34年よりふえた地方交付金

町債

一般会計における起債の借入は、二、〇二九万五千円となつており、昨年度に比べ、一、〇一四万五千円の減となつております。

町の財産

積立金	四九万円
証券	一、〇一五万円
出資金	一、〇一五万円
土地	二、六八二万円
建物	四、三九八万円
機械器具	三、六八二万円

歳出の状況

繰出金を大きくわけて、これらの対象的経費、（人件費、物件費、公債費、投資的経費）教育、土木、保健、衛生などの事業費であります。

役場費

住民サービスと事務能率推進の事務改善を図り三十五年二月実施の事務組織の改正を図るとともに、事務機械を導入して能率化を実施しました。

保健衛生費

町部地区の伝染病発生対策は、水道施設があるため概ね良好な状況ですが、未設備の郷地区は多く赤痢二五名、ジフテリア一〇名、一名をはじめ、これらの対策として、種痘、予防注射、公衆衛生の徹底を図りました。

土木費

着々整備の道路網

総額一、〇九二八万円で歳出総額の九%を占め、主なものは、道路では海岸道路の新設の事業と本線との接続ができること、出雲崎、寺泊間道路の改良で大河津地区の重要路線が整備されました。国庫負担工事では、新道地内道路改修、郷本、夏戸、松沢間、荒町道路改良、橋、郷本橋、第一田中橋、吉田水道橋があるため概ね良好な状況ですが、未設備の郷地区は多く赤痢二五名、ジフテリア一〇名、一名をはじめ、これらの対策として、種痘、予防注射、公衆衛生の徹底を図りました。

社会労働施設費

主な内容は生活保護関係費であります。国立病生のための生活扶助費は、一四四世帯に対し、一、一五九人分、延べ一、七八二、保護費は一、二五九万円となつております。

また、児童福祉では三、保育所二ヶ所で一九月三千円となつています。なお、新しく開設された国民年金は対象者四、八〇〇人で、このうち福祉年金の支給を受けたのは七〇〇人、八四〇万円となつています。

失業対策事業

土地整備事業として中学校グランド整地拡張工事や、道路改良工事、

教育費

生徒数が三十四年から三十五年には三学級の増加を示め、三十五年から三十六年には三学級の増加となつており、昨年に比べ、一、七八二人、保護費は一、二五九万円となつております。寺泊中学校で教室を行ないました。

また、児童福祉では三、保育所二ヶ所で一九月三千円となつています。なお、新しく開設された国民年金は対象者四、八〇〇人で、このうち福祉年金の支給を受けたのは七〇〇人、八四〇万円となつています。

失業対策事業

土地整備事業として中学校グランド整地拡張工事や、道路改良工事、

増築の大河津中学校

改良のツルガソネ道路

魚のアパート設置

産業経済費

農林関係では、新設漁船建造奨励費の二三〇度で各種の対策が推進され、動力ブロム機など防除体勢強化など永楠を中心とする約五、三万円を実施したほか、商工水産では、公園緑地の整備、夏の観光、商工会の法人化による新発足などがありました。水産振興では、並型漁礁の設置事業八〇万円の支出があり（うち県補助四〇万円）、コンクリート・ブロックの設置九七〇基が施設されました。

特別会計の決算

- 国民健康保険　一八、二七万一千円
- 直営診療所　七八七万八千円
- 上水道　三、一五二万七千円
- 水族館　三、三九六千円
- 産業会館建設　六、〇〇万七千円

歳出

議会費	九七、三六九、一九一円
役場費	八八、一九〇、四〇〇円
消防費	繰越　九、一七八、七八一円
土木費	
教育費	
社会労働施設費	
保健衛生費	
産業経済費	
財産費	
統計調査費	
選挙費	
債金	

歳入

町税	四六、五六九
地方交付税	三一、八一一
公営企業財政収入	
使用料及手数料	
国庫支出金	五、
県支出金	三、
寄附金	
繰越金	
雑収入	二、
新市町村建設計画繰越金	二、
計	九七、三六九

（単位千円）

町の台所はどうなっているか

使ったお金　　入ってきたお金

第21号　広報 てらどまり　昭和36年11月20日発行

8.20堀本川の堤防欠壊　　濁流にほどこすすべもなく見まもる農民たち

水害と風害をふりかえって

台風主流にまきこまれる

- あのときの風速は54メートル
- 公共施設が大被害
- ぞくぞくと続く見舞品
- 税金を減免軽減

八・五水害の傷痕のとろ、未だ癒えるにいたらぬ二台風でした。

再び寺泊町は大きな災害をうけてしまいました。

このなまなましい爪のあとをよりかえってその記録を特集しました。

狐崎五四米（国鉄吉田管理所発表）の台風主流のまきこまれたため、全壊住家七七戸（七〇%以上損傷）半壊八九六戸（二〇%～七〇%損傷）死者一名を出し、特に町の公共施設の多くが大被害を受けてしまいました。

また橋のたおれが多く、電灯線や電話線が各所で断線、道路は寸断されます。国民健康保険証も流失か軽減されますから、くわしいことは、役場総務課へお問合せください。

◎災害救助法によるものは仮設住宅二六戸がきまりました。

災害救助法の適用を受けた町村内の住家が滅失した世帯数の割合が、その町村の区域内の住家の戸数に応じ政令で定める基準以上であること。

災害救助法の適用を受けた町村内において、災害のため生活に通常必需の被服、寝具その他生活必需品を喪失、または毀損し、直ちに日常生活を営むことが困難な状態にあること。

◎災害救助法による救助の種類

収容施設（応急仮設住宅）の供与、炊出しその他による食品の給与、被服、寝具その他生活必需品の給与または貸与、医療及び助産、災害にかかった者の救出、災害にかかった住宅の応急修理、生業に必要な資金、学用品の給与、埋葬、死体の捜索及び処理、災害にかかった住宅の応急修理、生業に必要な資金の貸与

◎町からのお見舞

今般、半壊の世帯に、見舞金の多くが大被害を受けてしまいました。

また財産が、潮以上の被害を受けた人に町税が減免、または軽減されます。国民健康保険税も減免か軽減されますから、くわしいことは、役場総務課へお問合せください。

◎災害救助法によるものは仮設住宅二六戸がきまりました。

応急修理住宅は八百にきまり資金、二百件貸与ました。

9・16台風で磯町外山ナツさん死亡

9・16台風片町の惨状

荒れに荒れたこの町の姿も、今までは着々と復旧。町民のねばり強さを表わしています。

災害は忘れた頃くる

町の災害歴史

（御用留帳より）

- 宝暦二年（西暦一七五二年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。
- 安永八年（西暦一七七九年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。
- 文化三年（西暦一八〇六年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。
- 嘉永五年（西暦一八五二年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。
- 文久三年（西暦一八六三年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。
- 明治三年（西暦一八七〇年）六水縄有の水害寺泊町の橋年には、三十二ヒル上市町作収穫は八割減、他に山崩し住宅倒、田の流失など多大の被害があつた。

愛犬はつなぎましょう

- 犬の放し飼いはやめましょう
- 犬は勝手に捨てては行けません。

力走する駅伝競走

適した民家の丈夫な綱や、クサリでしっかりつないでおく丈夫な綱や、クサリでつないで人通りの少い所におこなうこと。

海底からツボがぞくぞく

場所は、寺泊タラバ、というすけそう岬の住む水深二〇〇米のところです。これについて魚士研究室の久我男子は、このように海の底から遺物が出土するのは県内はもちろん、日本全国でもめづらしい例で、寺泊が昔から海上交通の要地として開けたことがうかがえるとすれば、原因については、この点を考え合せて発行されていますが、鎌倉時代の遺物と推定されます。

文化祭でまた復興意欲